

日本大気電気学会第92回研究発表会 プログラム

共催： 電波科学研究連絡委員会E分科会
輻射科学研究会



日 程： 2015年 1月9日(金)、10日(土)
会 場： 千葉大学西千葉キャンパス 自然科学系総合研究棟1階 大会議室
〒263-8522 千葉市稲毛区弥生町1-33
連絡先： 鷹野敏明 (千葉大学大学院工学研究科)
Tel:043-290-3311, E-mail : takano@faculty.chiba-u.jp

日 程 表

| | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 | 19 | 20 |
|--------------|---------|------|----|-------------------|------|----------|-----|----|----|----|----|----|
| 1月9日 (金) | 地震 I | 気象 I | 昼食 | エアロ ゾル/放 射能 | 雷 I | 特別 講演 | 懇親会 | | | | | |
| 1月10日 (土) | 気象 II | 電磁波 | 昼食 | 地震 II | 雷 II | | | | | | | |

注：発表者は○印で示され、学生(学部生、大学院生)の時には下線が付してあります。

第1日 1月9日(金)

セッション 1 地震 I

9:00-9:48

座長 芳原容英 (電通大)

1. ○高星和人 (M1)、中田裕之、鷹野敏明 (千葉大院)、富澤一郎 (電通大 宇宙・電磁環境研究センター)、長尾大道 (東大地震研)
HFDにより検出された地震に伴う電離圏擾乱と地震動との関係
2. ○清水友貴 (M2)、中田裕之、鷹野敏明 (千葉大院)、松村充 (国立極地研)
数値シミュレーションにより導出した地震発生後の中性大気変動と背景大気パラメータとの関係
3. ○龍田健心 (M1)、芳原容英 (電通大院)、Tamal Basak (電通大 宇宙・電磁環境研究センター)
VLF/LF 帯送信局電波の振幅及び位相情報を用いた地震に伴う下部電離層擾乱の位置・空間スケール同定に関する研究
4. ○河野友紀 (電通大、B4)、龍田健心、芳原容英 (電通大院)
地震の発震機構と先行する下部電離層擾乱との関係

セッション 2 気象 I

10:00-11:48

座長 牛尾知雄 (大阪大)

5. ○藤田秀平 (B4)、嶋村重治、平野裕基、妻鹿友昭、菊池博史、呉亭、金寛、牛尾知雄 (大阪大) 吉川栄一 (JAXA)
X-バンド フェーズドアレイレーダネットワークにおける降雨減衰補正手法の検討
6. 嶋村重治、○菊池博史、松田崇弘、金寛 (大阪大)、吉川栄一 (JAXA)、中村佳敬 (神戸高専)、牛尾知雄 (大阪大学)
X 帯フェーズドアレイレーダ観測データの高精度圧縮手法とその評価
7. ○廣木暁充 (M2)、服部克巳、廣岡伸治 (千葉大院)
GPS を用いた水蒸気トモグラフィーの試みに関する研究
8. ○山崎智寛 (M2)、服部克巳、寺嶋智巳 (千葉大院)
人工降雨斜面崩壊実験における自然電位トモグラフィーを用いた地下水動態推定の試み
9. ○佐藤香枝、矢田拓也、呉宏堯 (明星電気(株))、小林文明 (防衛大)
稠密気象観測 POTEKA による 2014 年度夏季の突風現象の観測結果
10. ○木村孝承 (M1)、小林文明、野呂瀬敬子 (防衛大)、呉宏堯、矢田拓也、佐藤香枝 (明星電気(株))
2013年9月16日群馬県みどり市で発生した竜巻の地上稠密観測データを用いた気圧推定

- 1 1. ○野呂瀬敬子 (M2)、小林文明、木村孝承 (防衛大)、呉宏堯、矢田拓也、佐藤香枝 (明星電気 (株))
地上稠密観測網(POTEKA)で観測されたガストフロント事例の比較
- 1 2. ○道本光一郎、諸田雪江、横田匡彦 (ウェザー・サービス (株))、坪木和久 (名古屋大)、内川昌平、堀川桂太郎、中村吉孝 (日本電信電話 (株))
高密度四次元気象予測手法とそれに基づく防災情報提供に関する研究 (概要)
- 1 3. ○鈴木裕子 (東京学芸大、M1)、源泰拓 (地磁気観測所)、門倉昭 (国立極地研究所)、佐藤光輝 (北海道大学)、鴨川仁 (東京学芸大)
地吹雪発生時の大気電場の変動について

セッション 3 エアロゾル/放射能

13:00-14:36

座長 長門研吉 (高知高専)

- 1 4. ○太田晃平 (B4)、柑谷大佑、中原勇希、三浦和彦 (東理大・理)
東京神楽坂におけるエアロゾルの光学的厚さの特性
- 1 5. ○村上樹 (B4)、渡辺彩水、鈴木裕輝、岩本洋子、三浦和彦 (東理大・理)
秋季の東京神楽坂における大気エアロゾルの吸湿成長パラメータについての考察
- 1 6. ○鈴木裕輝 (B4)、土井瀬菜、三木裕介、岩本洋子、三浦和彦 (東理大・理)
台風通過後の粒子数変化に伴う都市大気エアロゾルの変化についての考察
- 1 7. ○堀井憲一 (B4)、片岡良太、渡辺彩水、岩本洋子、三浦和彦 (東理大・理)
太郎坊における新粒子の生成と成長について
- 1 8. ○片岡良太 (B4)、堀井憲一、横山慎太郎、渡辺彩水、岩本洋子、三浦和彦 (東理大・理)、加藤俊吾 (首都大学東京)、小林拓 (山梨大)
富士山頂における新粒子生成に関する研究
- 1 9. ○土井瀬菜 (B4)、鈴木裕輝、三木裕介、岩本洋子、三浦和彦 (東理大・理)
富士山斜面で測定した雲中におけるエアロゾル粒子の性状
- 2 0. ○永野勝裕、児島紘 (東理大・理工)、横山慎太郎、三浦和彦 (東理大・理)
富士山におけるラドン濃度の日変動
- 2 1. ○水関芳聡 (専攻科2年)、吉本輝、長門研吉 (高知高専)
放電による SO₂ の粒子化過程の研究

セッション 4 雷 I

14:50-16:38

座長 王道洪 (岐阜大)

- 2 2. ○秋山泰洋 (M1)、Ting Wu、牛尾知雄 (大阪大)、吉田智 (気象研)
対地放電及び雲内放電に先行する Preliminary breakdown の比較
- 2 3. ○岩間勇太 (M1)、白木真吾、森本健志 (近畿大)、鈴木福宗、辻大樹 ((株) サンコーシヤ)、林清孝、林雅明 (中部電力 (株))、中村佳敬 (神戸高専)
落雷に伴う電磁パルスと推定電荷量に関する検討

24. ○D. Wang (岐阜大)、 R. J. Thomas、 H. E. Edens、 W. Rison、 D. Rodeheffer (ニューメキシコテク)、 N. Takagi (岐阜大)、 P. R. Krehbiel (ニューメキシコテク)
LMAによる日本の冬季雷の観測
25. ○Mi Zhou (Wuhan University)、 D. Wang (Gifu University)、 J. Wang (Wuhan University)、 N. Takagi (Gifu University)、 L. Cai (Wuhan University)、 X. Li (Wuhan University)、 Y. Fan (Wuhan University)
Modeling of Return Strokes with Taking into Account of Their Initiation
26. ○熊谷悠里(B4)、石井颯杜(電通大)、芳原容英(電通大院)、S. Heckman、C. Liu (Earth Networks、USA)
日本国内トータルライトニングの夏期初期観測結果と局所的気象災害との関係性
27. ○石井颯杜(M1)、芳原容英(電通大院)、C. Price (Tel Aviv University)
極端気象に伴う雷放電及び降水領域の移動に関する研究
28. ○諸田雪江(ウェザー・サービス(株))、加藤雅也(名古屋大・地球水循環研究センター)、道本光一郎、横田匡彦(ウェザー・サービス(株))、坪木和久(名古屋大・地球水循環研究センター)
電荷中和過程スキームに対する雷シミュレーションの敏感度
29. 杉田明子((株)フランクリン・ジャパン)
JLDNで観測された2014年の落雷
30. 金子大志(北陸電力(株))
送電線地絡事故時の雷雲内電荷分布推定の一事例

特別講演：「リモートセンシングの地震防災分野への利用」 16:50-17:50
 講師：山崎文雄(千葉大学 大学院工学研究科・教授)
 司会：鷹野敏明(千葉大学大学院工学研究科)

懇親会： レストラン コルザ (けやき会館 1階) 18:10-

第2日 1月10日(土)

セッション 5 気象Ⅱ

9:00-10:24

座長 鷹野敏明 (千葉大)

- 3 1. ○澤田佳佑 (M2)、花澤征大、佐々木夏海、穂積拓、松本雄太、鹿野隼人、今間陽介、関谷和樹、森大知、水田篤秀、宮川功、井浦太一、河村洋平、中田裕之、鷹野敏明 (千葉大)、大塚彰 (農研機構)
ミリ波雲レーダ FALCON-I の非降水エコー検出性能の評価
- 3 2. ○宇野賢吾 (M2)、河村洋平、中田裕之、鷹野敏明、高村民雄 (千葉大)
ミリ波雲レーダ FALCON-I による大気輝度温度の観測と検証
- 3 3. ○鹿野隼人 (M1)、井浦太一、河村洋平、中田裕之、鷹野敏明、高村民雄 (千葉大)
FALCON-I と CloudSAT の 千葉県内同時観測
- 3 4. ○今間陽介 (M1)、関谷和樹、河村洋平、中田裕之、鷹野敏明、高村民雄 (千葉大)
FALCON-I を用いた雲の走査観測
- 3 5. ○関谷和樹 (M1)、今間陽介、森大知、河村洋平、中田裕之、鷹野敏明 (千葉大)
ミリ波 FM-CW 雲レーダ FALCON-I の 1 アンテナ化の有用性とその課題
- 3 6. ○渡邊哲郎 (M2)、矢永賢洋、永瀬雄斗、河村洋平、中田裕之、鷹野敏明 (千葉大)、大野裕一 (NICT)
北極気候変動観測用ミリ波雲レーダ FALCON-A のアンテナ間視差算出
- 3 7. ○永瀬雄斗 (M2)、矢永賢洋、松本雄太、河村洋平、中田裕之、鷹野敏明 (千葉大)
ミリ波レーダ FALCON-A による雲の定量的解析

セッション 6 電磁波

10:40-12:04

座長 服部克巳 (千葉大)

- 3 8. ○鈴木克徳 (電通大、B4)、芳原容英 (電通大院)、I. R. Linscott、U. S. Inan (スタンフォード大)、佐藤光輝、高橋幸弘 (北大)、牛尾知雄、河崎善一郎 (大阪大)、森本健志 (近畿大)、山崎敦、鈴木睦 (ISAS/JAXA)
国際宇宙ステーション GLIMS ミッションにより観測されたホイストラを用いた電離層 F 層の電子密度推定
- 3 9. ○松井優磨 (電通大、B4)、芳原容英 (電通大院)
大規模気象擾乱に伴う大気圏電離圏結合に関する研究
- 4 0. ○Tamal Basak (UEC, Japan and ICSP, India)、S.K. Chakrabarti (SNBNCBS, India and ICSP, India)
Effects of X-ray solar flare on low-latitude D-region ionosphere evaluated from Very Low Frequency radio signal amplitude analysis
- 4 1. ○乾大輝 (M2)、芳原容英 (電通大院)、Sujay Pal (電通大院、ICSP)
VLF 送信電波ネットワーク観測を用いた金環日食に伴う下部電離層擾乱領域の同定に関する研究

- 4 2. ○平林慎一郎 (M1)、中田裕之、鷹野敏明 (千葉大院)、富澤一郎 (電通大)
HFD と微気圧計による台風通過時の大気波動のスペクトル解析
- 4 3. ○吉川晃平 (M1)、中田裕之、鷹野敏明 (千葉大院)、松村充 (国立極地研)
数値シミュレーションを用いた地震により生じた中性大気波動の伝搬特性解析
- 4 4. ○高橋明 (M2)、中田裕之、鷹野敏明 (千葉大)、齊藤昭則 (京都大)、坂野井健 (東北大)
ISS-IMAP 観測におけるプラズマバブル発生頻度の季節-経度依存性

セッション 7 地震Ⅱ

13 : 00-14 : 00

座長 本島邦行 (群馬大)

- 4 5. ○樋口友基 (M2)、羽賀望、本島邦行 (群馬大院)
VHF 帯電波伝搬異常のリアルタイム検出と通知システム
- 4 6. ○山口拓人 (B4)、韓鵬、吉野千恵、服部克巳 (千葉大)
地震に先行する地磁気日変化異常の調査
- 4 7. ○小泉直輝 (B4)、服部克巳、吉野千恵、韓鵬、山崎智寛、山口拓人、陳浩 (千葉大)、茂木透 (北海道大院)、奥田真央 (北海道大)、後藤忠徳 (京都大院)
MT 法による房総半島の地下比抵抗構造探査に関する研究
- 4 8. ○Peng Han (Chiba University)、Katsumi Hattori (Chiba University)、Jianchang Zhuang (Institute of Statistical Mathematics)
Optimal earthquake forecasts based on ULF seismo-magnetic data
- 4 9. ○本間彩乃 (B4)、韓鵬、服部克巳 (千葉大院)、刘正彦 (台湾中央大)
電離圏擾乱の性質と地震に関連する電離圏擾乱の統計研究

セッション 8 雷Ⅱ

14 : 10-16 : 10

座長 鴨川仁 (東京学芸大)

- 5 0. ○鳥居建男、眞田幸尚、西澤幸康、山田勉、織田忠 (JAEA)、村岡浩治、佐藤昌之 (JAXA)、渡邊明 (福島大)
ゾンデ及び航空機を用いた雷雲中とその近傍における放射線の観測
- 5 1. ○風間光喜 (M1)、片寄祐作 (横浜国立大)、日比野欣也、多米田裕一郎、有働慈治 (神奈川大)
チベット高原における雷雲に関する放射線と宇宙線の観測
- 5 2. ○庄司智美 (B4)、齋藤将監 (東京学芸大)、鳥居建男 (原子力機構)、鈴木裕子、鈴木智幸 (東京学芸大)、林修吾、楠研一 (気象研)、鴨川仁 ((東京学芸大)
高エネルギー放射線検知時の雷雲内電荷領域の推定
- 5 3. ○齋藤将監 (B4)、庄司智美 (東京学芸大)、鳥居建男 (原子力機構)、鈴木裕子 (東京学芸大)、杉田武志 (SSL)、鴨川仁 (東京学芸大)
推定した雷雲内電荷領域から発生する高エネルギー放射線量

- 5 4. ○鈴木智幸、鈴木裕子、鴨川仁（東京学芸大）
富士山からの高高度発光現象の観測 2014 一富士山から見た巨大ジェットー
- 5 5. 岩崎博之（群馬大）
落雷エネルギーに注目した全球雷気候学
- 5 6. ○相川龍大（B4）、山下純平（電通大）、芳原容英（電通大院）、塩川和夫（名古屋大 STE 研）
ELF 帯電波観測を用いた落雷電荷モーメント分布のリアルタイム表示システムに関する研究
- 5 7. ○山下純平（M1）、芳原容英（電通大院）、成田知巳（東京電力）
関東周辺での落雷に伴う電荷モーメントの地域特性に関する研究
- 5 8. ○柿沼遠方（M1）、芳原容英（電通大院）、牛尾知雄、河崎善一郎（大阪大）、森本健志（近畿大）、佐藤光輝（北海道大）、山崎敦、鈴木睦（ISAS/JAXA）
JEM-GLIMS ミッションにより観測された雷発光現象と落雷電荷モーメントとの関係
- 5 9. ○阿部利之（M2）、芳原容英（電通大院）、M. Parrot（仏国、LPC2E/CNRS）
人工衛星観測による全球にわたる雷起源の電磁波特性に関する研究

■ 講演者へのお願いとご案内

- (1) 1件の発表時間は12分です。発表9分、質疑応答3分で御発表下さい。
- (2) 当日は会場に発表用PCを用意します。Windows/Power Point で作成したファイルを各種媒体でご持参下さい（休憩時間に各自で準備してください）。PC持込も可です。
- (3) 大気電気学会誌原稿の送付方法と締切り
 1. 送付方法：講演者は「大気電気学会誌」の原稿（1頁ないし2頁）のPDFファイルを、下記の学会ホームページより送信してください。
<http://www.saej.jp/conference/program92.html>
 2. 締切り：平成27年2月15日(日)
 3. フォーマット：上記の学会ホームページからダウンロードしてください。

■ 参加費徴収のお知らせ

以下の通り研究発表会当日、受付にて参加費を徴収します。

正会員：5,000円

学生会員：不要

非会員：一般：7,000円 学生：3,000円

賛助会員：5,000円

シニア：3,000円 ※リタイアされた方。自己申告です。

名誉会員：不要

【お願い】

当日の受付をスムーズに行うため、参加費のお支払時にはお釣りが出ないように、予めご準備いただきますようご協力をお願いいたします。

※会場へのアクセス

会場: [千葉大学 西千葉キャンパス](#) 自然科学系総合研究棟1階 大会議室

- JR総武線 西千葉駅から 徒歩5分
- 京成電鉄千葉線 みどり台駅から 徒歩8分



賛助会員名簿 (五十音順)

現在までに入会されている賛助会員は下記の通りです。本会への賛助に対し、深く感謝申し上げます。本会では賛助のご好意にお応えするため、「大気電気学会誌」に広告を無料掲載することとしております。広報担当運営委員、本島 邦行（群馬大学理工学研究院電子情報部門 Email: motojima@el.gunma-u.ac.jp、Tel: 0277-30-1785、 Fax: 0277-30-1707）までお申し込み下さい。

ウェザー・サービス株式会社
宇宙航空研究開発機構（JAXA）種子島宇宙センター
株式会社応用気象エンジニアリング
音羽電機工業株式会社
日油技研工業株式会社
バスタ技研株式会社
株式会社フランクリン・ジャパン
明星電気株式会社
NPO雷嵐対策推進機構